



10月28日顕彰行事挙行 顕彰碑除幕式・講演会

釈宗演だより

第 6 号

発行／釈宗演を顕彰する会
会長／伊藤 彰
福井県大飯郡高浜町
蘭部 49-16 (松和塾)
電話／0770-72-1353



没100年

郷土の偉人を賛える

鎌倉円覚寺派 横田管長が講演

禅を世界に広めた明治の高僧釈宗演の没100年記念行事を10月28日、高浜町文化会館大ホールで行います。顕彰式典、講演会を開催。これに先立ち顕彰碑の除幕式を高浜公民館で執り行います。釈宗演を顕彰する会（伊藤彰会長）は一昨年10月に会を結成、顕彰活動を展開してきましたが、今回の記念事業を一大イベントと位置付け、式典や講演会に多数の方の参加を呼び掛けています。

高浜町で生まれた釈宗演。明治から大正にかけ鎌倉円覚寺派管長として日本だけでなくZENを世界に広めた禅の高僧として知られています。

生誕地である高浜町内では小さいころに出家したこともあり、その偉業について関心が高まっています。今回の顕彰活動で広く町

民に知られるようになりました。式典はこれまでの顕彰事業の報告、釈宗演が晩年住職を務めた鎌倉東慶寺住職の井上

陽司氏のご挨拶、紙芝居を作成した高浜中学校美術部への感謝状贈呈を行います。トークショーでは漫画本「釈宗演ZEN」の著者である高島正

嗣氏、「釈宗演と明治」の作家中島美千代氏が対談します。記念講演は臨済宗円覚寺派の横田南嶺管長が「釈宗演老師を慕いて」の演題で講演します。鎌倉五山の一つである円覚寺は釈宗演が32歳という若さで管長に就任、夏目漱石はじめ多くの著名人と交流したお寺です。顕彰する会では多くの方に参加を呼び掛けています。入場は無料でどなたでもご参加下さい。

丹後街道沿いの生誕地に石碑建立

顕彰する会が高浜町の旧丹後街道沿いにある釈宗演の生誕地に「略歴碑」を設置しました。若宮区の生誕地にこれまで「生誕地の碑」がありましたが、家屋や木で見づらいこともあり、今回移設し、略歴碑と並べ見やすく配置しました。



た観光ツアーや、故郷の偉人見学会などで多くの史跡ファンが訪れることが想定されており、今回の設置となったものです。すでに多くの方が見学に来ています。旧丹後街道の賑わいづくりに一役買うことでしょう。

記念行事

- 日時 **10月28日(日)**
13:30～16:00
- 場所 高浜町文化会館 大ホール他
- 主催 釈宗演を顕彰する会
- 共催 高浜町・高浜町教育委員会
- 後援 福井県

プログラム

- 第1部 顕彰碑除幕式 (高浜公民館13:30～)
- 第2部 顕彰式 (14:00～14:45)

顕彰事業報告
感謝状贈呈

トークショー

- ・漫画家 高島正嗣氏
- ・作家 中島美千代氏

- 第3部 記念講演会 (14:50～16:00)

演題「釈宗演老師を慕いて」
臨済宗円覚寺派 横田南嶺管長

問い合わせは／
事務局 電話0770-72-1353

釈宗演のふるさとにふれる 禅三昧ツアーを開催

在留外国人らが座禅を体験

9月16、17日の2日間にわたって「禅三昧のつどい」を開催しました。在留外国人の方を中心に、禅の高僧釈宗演の故郷高浜を知ってもらおうと、顕彰する会が企画したものです。町、観光協会、まちづくりネットワーク等との共催。

当日は町外参加者を高浜駅で出迎え、座禅体験場所である大成寺、元興寺へ。伊藤会長の歓迎挨拶の後、高浜中学校美術部が作成した紙芝居「宗演さん」を英語で聴き理解を深めました。17日の



高浜町内の大成寺、元興寺で座禅を体験



高浜中生徒による英語での紙芝居

町に地域おこし協力隊として赴任した月田シヨーンさんが通訳しました。その後参加者は各寺の和尚の指導の下、足を組み座禅を体験。外国の方は座禅の足の組み方に苦労していました。和尚さんの「肩の力を抜いて」の声で気軽に座禅を体験しました。

会場には町内のお琴、お茶、生け花団体等のおもてなし演出もあり、参加者は日本文化を満喫していました。

座禅の後、町内のレストランで昼食、書家角谷さんの書パフォーマンスを鑑賞し、生誕地、中山寺の仁王門・本堂、佐伎治神社へも足を延ばし見学しました。参加者は初めて座禅体験した方が多く、禅への理解を深めていました。



シリーズ⑤ 私と釈宗演
『滴翠』

小浜市常高寺住職 澤口 輝禅

私の住する小浜、常高寺の書院に二枚の扁額がかかっています。一枚は釈宗演禅師によるもので、「滴翠」とあり、もう一枚は、釈越溪禅師の書で、「遠山無限碧層々」とあります。釈宗演禅師は、お兄さんが常高寺で熱心に坐禅をしておられて、そのご縁で、京都妙心寺におられた越溪禅師のもとで出家したと聞いております。

越溪禅師は、周知のとおり、釈宗演禅師の叔父で、高浜町三明のお生まれ、江戸時代末期に、常高寺の第十二代住職の大圓和尚のもとで出家しました。後に妙心寺の専門道場を開き、妙心寺派管長にまで登られました。また、越溪禅師のあとを継いで、妙心寺専門道場で雲水指導をし、同じく管長になられた小

林虎関禅師もまた、高浜町（旧山中村白井）のお生まれで、常高寺第十四代住職龍田和尚のもとで出家しております。

更に大正から昭和初期にかけて、東京高輪にある名利東禅寺の住職を務めた霽絶学老師は、高浜町車持のご出身で、常高寺第十五代住職霽貫道和尚のもとで出家しております。常高寺第十六代住職霽富山和尚（大正元年没）も、高浜町一瀬家の出とされております。このように、明治から大正年代にかけて、高浜町出身の和尚さん方数名が常高寺を縁として高僧の道を歩まれたのは、感慨深いものがあります。

さて、常高寺は、私が住職する平成二年までは相当に荒れ寺となっておりましたが、皆様のご支援を頂いて再建してまいりました。書院と本堂の裏手に広がる庭も少しずつ手入れをし、この頃にはようやく禅寺の庭らしくなってきました。数年前、せっかくの庭に名前がないのは寂しいと考えて、ふと思いついて、独断ですが、釈宗演禅師の扁額の語「滴翠」をそのまま借用して、「滴翠園」と名づけました。禅師も笑ってお許しくださることに勝手に思っている次第です。

広がる顕彰の輪

各地で講演会、展示会

●高浜町郷土資料館
「郷土の偉人 高僧 釈宗演展」10月28日まで開催

高浜町郷土資料館で今月28日まで展示会が開催されています。資料館が所蔵する掛け軸を中心とした資料と共に、町内に残された品など展示しています。

●若州一滴文庫

11月26日まで「動乱の時代をあゆむ 日本思想史の源流たる若狭の禅僧」展を開催中

おおい町の若州一滴文庫では作家水上勉が収集した若狭にまつわる禅僧、大拙承演、儀山善来、釈宗演などの墨跡などが展示してあります。

◆釈宗演の名言・和歌紹介

他人のろは、引いてはならぬ
他人の馬は、騎ってはならぬ。

俺は哲学を学んだ、これも知ってるというが、みんな人の自分の肚（はら）から生み出したものは、一つもない。いくら威張っても、他の弓をひいているのだ。他の馬ののっているのだ

◆解説 ほとんどが先人の知恵を借りて仕事や生活しているがしばしば、自分の成功や能力に酔って傲慢になりがち。自分の成功は先人の知恵やたくさんの人の協力があることを忘れてはいけないことを忠告する言葉。



ルーク・マーシャルさん (Luke Marshall)

ツアーに参加して

1. 全体として、今日のツアーの感想はどうでしょうか？

すごく面白くて、楽しかったです！高浜の様々なスポットやアクティビティが一日中経験できて良かったです！

2. 一番良かったのは何でしたか？

釈宗演のゆかりのスポットの巡り歩きが一番良かったです。釈宗演の幼年時代の環境を学べることはすごく面白かったです。

3. もっとやって欲しかったことは？

釈宗演の幼年時代の環境について、もう少し深く知れたかったです、その当時の歴史的な背景も把握できたら良かったと思います。